

学校教育目標	橘中学校教育理念【ひらかれた心で、人とつながる】				
	た 互いを認め合い	公・徳			
	ち 着実に心や体を鍛え	徳・体			
	ぱ 万化に応じて自ら学び	開・知			
な 何事にも根気強く自ら未来を切り開く	徳・開				
学校概要	創立 47 周年	学校長 兼田 宗明	副校長 園田 達哉	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 697 人	主な関係校: 藤塚小学校、今井小学校、初音が丘小学校、仏向小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	橘中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくり>	橘中学校 藤塚小学校 今井小学校 初音が丘小学校 仏向小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己肯定感をもち、豊かに表現し、他者と学びあう子ども ・職員の小中学校交流会を年2回実施し、公開授業や教科別討議等を設定する。 ・ブロック教務主任会を年数回実施し年間計画やカリキュラムマネジメント等を協議する。また、ブロック児童支援・生徒指導専任教諭協議会を実施し情報共有や児童生徒指導にかかわる共通理解等を図る。 ・児童が中学校を訪問し、小中学生の交流を深める。

中期取組目標	<p>○だれもが安心して豊かに生活できる温かい学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いを認め、学びあい支えあう集団づくりを推進します。 ・「想像する力」「自ら考える力」「表現する力」「やりとげる力」の育成を、全教育活動を通して推進します。 ・小中交流を推進し、「学力観」「指導観」の共有化を図り、9年間の一貫カリキュラムの実践と改善を推進します。 ・個に応じた教育を通して課題解決の達成感を実感させ、自ら進んで学びあう姿勢、粘り強く取り組む意欲の育成を図ります。 ・全教育活動を通して職員と生徒との関係性を深め、信頼関係を構築し、生徒理解を基にした指導を実践します。
---------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	生きてはたらく知	<ul style="list-style-type: none"> ①各学年で読書をする時間の充実を図り、読むことに慣れ、その内容を文章で表現する取り組みを行う。 ②各教科において、それぞれの個に応じた学びを引き出し、基礎学力の定着を図る。 ③各教科において、ICT(Chromebook)を授業で活用する場面を増やす。
担当	学習研究部	
徳	豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> ①道徳の授業の充実を目指し、他者の考えを認め、物事を深く考える力を育む。 ②人との触れ合いを大切に、他者を思いやる心の成長と人権感覚を高める。 ③体験活動をさらに充実させ、生き方や進路を積極的に考える力を育む。
担当	学習研究部	
体	健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> ①保健体育科の授業において、各種目の基本的な知識や技能の定着を図る。 ②体育祭や球技大会、学年レク等を生徒が主体となって運営できるようにする。
担当	保健体育科・保健安全部	
公開	コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ①よりよい人間関係を築くためのコミュニケーション能力を育てるために、ソーシャルスキルトレーニング(SST)を行う。 ②生徒が主体的に学校生活について話し合い、生徒会の組織が中心となって、学年や学校全体の課題解決を行う。 ③集団の中で互いを認め合いながら、自己の良さや可能性を生かす力を育む。
担当	特活指導部	
いじめへの対応		<ul style="list-style-type: none"> ① 計画的に「横浜プログラム」や「いじめ」の研修を行い、学校全体で未然防止の意識を高める。 ② 5月、12月のいじめアンケートや、年2回のYPアンケート、教育相談を実施し、いじめの早期発見を目指す。 ③ 月1回以上定例のいじめ防止対策委員会を開催し、認知された事案の経過確認を確実に行うことで再発防止に努める。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		<ul style="list-style-type: none"> ① メンターチームを組織し、ミドルリーダーを中心としながら少人数グループで月1回程度の自主研修を行い、経験の浅い職員の育成を図る。 ② 働き方改革の視点から、持続可能な部活動についての検討や組織の役割分担や意義の見直しを行い、生徒の適切な活動時間や職員の心理的安全性の高い環境での働き方について考える。
担当	教務部・メンターチーム	
教育課程学習指導		<ul style="list-style-type: none"> ①基礎的な学力の定着を目指し、各教科等で授業力向上を目指す。 ②研究授業を通じ、育てたい資質・能力の三つの柱を教科等横断的な視点を踏まえて授業改善を行う。 ③スクールモットーを浸透させる。
担当	教育課程委員会	
生徒指導		<ul style="list-style-type: none"> ①教員と生徒が共に活動する中で、「自ら気づき、考え、行動できる」ことを目指し、自他を大切にする生徒をより多く育てる。 ②生徒、保護者の心情に寄り添い傾聴を大切に、関係機関との連携を図りながら組織的に取り組む。
担当	生徒支援部	
特別支援教育		<ul style="list-style-type: none"> ①アセスメントを丁寧に行い、環境の工夫やICT機器を活用して、個別最適な支援の展開を目指す。 ②特定非営利活動法人 居場所 そら との連携を図り、生徒・保護者のニーズに寄り添った教育活動を目指す。
担当	特別支援教育委員会	